

# 後継はオスプレイ

## 額賀長官、可能性示す

### 「具体計画聞いてない」

#### 普天間移設先

【東京】額賀福志郎防衛庁長官は、千古の衆院安全保障委員会で、米普天間飛行場の移設に伴い、名護市キャンプ・シユフ浦岸部に建設される代替施設への垂直離着陸機MV22オスプレイの配備について、「将来、米海兵隊の輸送ヘリをオスプレイに代替していく予定であるとは聞いている」と述べ、配備の可能性が公式の場で初めて認められた。長島昭久氏（民主）への答弁。



米海兵隊の次期主力機となる垂直離着陸機MV22オスプレイ

一方、二月に外務省が外ルートを通して米政府に照会したところ、日本への配備の具体的計画はないという返事だ。たゞ従来の説明を繰り返して、正式決定ではないことを強調した。

長島氏は、代替施設の二本の滑走路の長さが千八百メートル（緩衝地帯を除く）と千五百メートルであることについて（普天間飛行場から移駐する）三機の連絡機のために、二本の滑走路を造るのは「断念されたい」と指摘。

「老朽化した（普天間飛行場所屬の）CH46の大型輸送ヘリを、CH53の中大型輸送ヘリに置き換える。所要の滑走路の長さが千五百五十メートルといわれておる（代替施設の滑走路の長さ）と、さりとて合致しない」と主張した。

また、CH46ヘリの耐用飛行年数を延長するための改修予算が、米政府の二〇〇八会計年度に途切れるとの米国防総省資料を提示。「〇八年度を境にCH46ヘリが順次オスプレイに代替されれば、予算資料から類推す

れば論理的に考えられる」と追及した。

額賀長官は、千八百メートルの滑走路は昨秋の（在日米軍再編の）中間報告に日米合意で明記され、それに基づき地元と協議した」と述べた。

オスプレイの配備について、宮野座村の東葉村長は十九日、「防衛施設庁側から『ない』とはっきり聞いている」と話している。また、名護市幹部によると、額賀長官は同市との協議でもオスプレイの配備はないと説明したという。

▼ことば  
垂直離着陸機MV22オスプレイ 米海兵隊の次期主力機。飛行航続距離が2300キロとCH46ヘリの倍以上で、部隊の作戦行動範囲を大幅に広げることが可能になる。一方、2000年に23人が死亡するなど開発段階で墜落事故が頻発し、安全が明らかにならないうちに配備される予定が明らかになった。全性を疑問視する見方もあり、移設先の名護市キャンプ・シユフ浦岸部に代替施設への配備が「断念されている」。